

# 栗くりゆうゆうプラザ

会場	開設	令和4年度の活動状況				
		参加人数			開設期間 曜日・数	講座数
栗橋小学校	H23.12	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	R4.10～R4.12 月曜日 12日 土曜日 7日	19講座
		167 (27%)	21名	110名		

## 1 実施委員長・校長先生からのメッセージ

時代の進歩に沿った「ゆうゆうプラザ」を 実施委員長 奈良 雄二

地域の皆様、伊藤校長先生様をはじめ栗橋小学校の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力のおかげで令和4年度の栗くりゆうゆうプラザを無事終了することが出来ました。感謝申し上げます。今年度も、コロナ感染予防とスタッフの健康管理を基本に考えての事前準備を行い、10月～12月の2学期にまとめて「ハンドベル」「書道教室」「書きぞめ教室」を新しく加え19講座を開催しました。

講座説明は学級ホームルームでの動画視聴、学校ホームページにアップしました。さらに、令和4年度の募集は学校から配信されたメールに申し込む方法で、ゆうゆうプラザ開設以来行っていたやり方が全く変わり、「募集用紙」がない画期的なことでした。紙の印刷と受付集計が大幅に簡略されました。大変ありがとうございました。

これからも、栗くりゆうゆうプラザの子供たちが楽しめるように、地域の皆様、栗橋小学校の皆様、保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

地域で育つ子ども達～地域の皆様に感謝～

校長 伊藤 あゆみ

「栗くりゆうゆうプラザ」は今年度12年目を迎えました。毎年、子供たちに楽しい体験と貴重な学びの場を提供し続けてくださっている奈良実施委員長様をはじめとする実施委員の皆様、サポーターの皆様、運営委員の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度も、コロナウイルス感染拡大に配慮しながら、2学期に月曜講座12講座、土曜講座7講座、計19講座を開催してくださいました。昨年度と同じ講座もあれば、新規に企画された講座、親子講座もあり、どの講座も受講した子供たちの嬉しそうな笑顔を見ることが出来ました。ゆうゆうプラザのある日は、朝から子どもたちが待ち遠しくてわくわくしています。

栗くりゆうゆうプラザにご協力いただいている地域の方は総勢100名にも及ぶと聞いています。地域の方に見守られながら育つ子どもたちは幸せです。これからも末永く「栗っ子」の成長を見守り、支えてくださいますようお願い申し上げます。

## 2 栗くりゆうゆうプラザの活動紹介

### 2-1 活動の記録

日付	内容	日付	内容
3月24日	正副委員長打合せ	9月1日	児童は講座紹介動画視聴
4月7日	R3年度反省・懇親会	9月5～6日	スマホで講座申込
4月23日	PTA新旧理事会	9月9日	保険金集金
5月2日	正副委員長打合せ	9月28日	全体会・安全研修・流れ確認
5月25日	正副委員長打合せ	10月15日～	土曜日講座開始(7講座)
6月6日	第一回実施委員会議	10月17日～	月曜日講座開始(12講座)
6月30日	1年PTAへの説明	1月16日	R4年度振り返りと次期計画
8月24日	講座紹介ビデオ撮り	2月16日	総合学習応援(昔のあそび)

### 2-2 取組みの状況

「無理なく、楽しく、やって良かったと思えるものに」を念頭に活動しています。

今年度は、①ICT機器の活用による作業軽減。②お互いを理解しあえるオープンな仕組み作り。③児童にホンモノを体感してもらう。④栗小OB・OGとの交流による相乗効果を期待。以上のことに重点を置いて運営しました。この間の学校のご支援に感謝申し上げます。具体的には以下の①～④です。

- ① 前年度に続いて各指導者・実施委員による講座紹介のビデオ撮りを実施しました。児童はそれを各教室の電子黒板で視聴。その後、保護者・児童はHPにアップされた講座紹介を再確認し、スマホの応募フォームで希望講座を受付けました。  
コロナ禍で集会が持てない環境下で始めたリモート化ですが、今年度で、ビデオ動画での講座紹介、スマホ活用の応募・集計というICT機器を活用した全体の流れが完成しました。これにより紙資源、労力、時間を大きく削減できました。  
一例ですが、従来は6ページの講座紹介を650部作製・配布していましたが、これを関係者分30部に削減できたことで労力・時間が驚くほど軽減されました。
- ② 自分の立ち位置が一目でわかる「講座役割表」を作成し全員に配布しています。  
この表には、受付係、一年生下校係、講座名と担当者名、講座開催場所など全ての項目が明記されており、役割をオープンにしてお互いが理解しあえる仕組み作りに有効だと思っています。この表によって私達の活動が、延べ約160名という多くの指導者、実施委員、地域ボランティアの貢献で成り立っていることを認識すると共に、自分はどの方面で支援出来ているか再確認することができます。
- ③ 土曜日講座を“ホンモノ体験の場”として位置づけて、第一線の方々の指導を得る機会を設けています。今後さらに拡充して理科分野へも展開を計画しています。
- ④ 栗橋東中学校のご理解を得て「栗橋小学校でボランティアしませんか！」との呼びかけに8名の生徒が応じてくれました。応援してもらう講座は、参加児童が特に多い「校庭あそび」と「楽しく走ろう」をお願いしました。特に栗橋小学校OB・OGの中学生には、今回のボランティア活動を通じて支援する側に立った自身の成長を実感してほしいと思います。今後ともこの交流を通じて相乗効果が現れることを期待しています。

2-3 活動の写真

月曜日  
講座

絵を描こう



手芸



ダンスをつくろう



お笑い



折紙



ボッチャに挑戦



飛ぶものを作ろう



楽しいサッカー教室



書道教室



土曜日  
講座

マジック



三年生の書きぞめ



英語であそぼう



ハンドベル



下校風景



中学生サポーター



## 栗橋町文化祭



### 3 今年度の成果と反省・楽しい思い出

#### ◆講座関係

- ① 12の月曜講座と7の土曜講座で、10月～12月の活動だった。
- ② 本部と実施委員で、細かく計画を練り活動に移していった。
- ③ 児童には多くの講座を体験することができるように、また児童が主体的に活動に参加できるように考え、講座の中で手伝えるものには参加できるように配慮した。
- ④ コロナ禍の中で衛生面に配慮し換気や密にならないように、また消毒の徹底もした。
- ⑤ 栗橋の文化祭発表の部に『お笑い・漫才』の講座が出演し、展示の部に『折り紙、絵を描こう、手芸』の講座が出展、自信や満足感を感じられる場となった。
- ⑥ 『ダンスをつくろう』の講座は、まなびすと久喜に参加することができた。自分たちで考えた振付を入れたダンスの発表は、舞台上で堂々と自信をもって踊れ、素晴らしい体験となった。



#### ◆下校関係

- ① 講座活動の前に、1年生の下校ファイルに出席のチェックをし、下校のときはさらに方向別にチェックし保護者の下校当番の協力で引率迄スムーズな下校の形になった。
- ② 下校について、1年2年は集団下校、3年生以上は個人下校とした。

#### ◆その他

- ① ゆうゆうプラザの活動にあたり、学校の協力、実施委員をはじめ講座のサポーター、保護者の下校手伝いなど、協力体制が図られた。
- ② 募集については、学校のHPから配信され、申込みという方法を取り、画期的にステップアップした参加申し込みの方法だった。
- ③ 新1年生に保護者会で、ゆうゆうプラザの説明と質問を受け理解していただいた。